坂井木部地区まちづくり協議会広報紙

みのりの郷

2021
春号
令和３年

美しい田園風景と思いやりのあるまち坂井木部

笑顔いっぱい！

坂井木部

INDEX

令和２年度坂井木部地区まちづくり協議会　総会
越前カンタケ栽培講習会
鬼辺輪中を歩く　第１歩
ディスクゴルフ講習会
春のふれあいまつり
木部まちづくりプラン研修会
連載：知ってもっと好きになる私たちのまち坂井木部

坂井木部地区まちづくり協議会HP
https://kibemaru.jimdofree.com/

越前カンタケ栽培講習会　令和2年11月15日（日）

坂井農林総合事務所の協力のもと、越前カンタケ栽培講習会を開催し15人が参加しました。

越前カンタケは池田町で発見された野生のヒラタケを福井県総合グリーンセンターで培養し品種登録された福井県独自のキノコです。冬季（12月～2月）に発生することから「カンタケ＝寒茸」と名付けられました。

２個の菌床を丁寧にプランターに植え、置き場所や水のやり方など栽培方法の説明に真剣に耳を傾けていました。参加者は収穫できるか半信半疑のようでしたが、後日「３～４回収穫できた」「バター炒めにしたらおいしかった」などたくさんの喜びの報告がありました。

「鬼辺輪中を歩く」第１歩　令和2年11月29日（日）

坂井市文化課と坂井木部・三国木部・大石の３まち協の共催で「鬼辺輪中を歩く」（第１歩）が開催され、県や市の文化関係者や３まち協の会員、市民など約40名が参加しました。

木部新保から九頭竜川堤防を歩き、折戸、池見を巡り、各集落の神社や紀倍神社のお神輿、折戸集落の移転、池見神楽など珍しい文化財や歴史について区民から説明をいただき、多くの発見ができました。

これら３つのまち協はもとは“木部村”で、“鬼辺の郷”であったことから、これからも地域のつながりを大切にし、第２歩、３歩と木部輪中の集落を歩き「鬼辺地区のお宝」を探していきたいと思っています。

ディスクゴルフ講習会　令和2年12月6日（日）

まちづくり協議会と木部体育協会の共催でディスクゴルフ講習会を開催し、小学生や区民など20名が参加しました。

令和４年５月に関西を中心に生涯スポーツの世界大会「ワールドマスターズゲームズ」が開催され、坂井市ではディスクゴルフ競技が行われます。そこで、木部地区でもディスクゴルフを多くの区民に知ってもらおうと、市から指導員を招いて体験しました。「ディスクをゴールに入れるのは難しい」「まっすぐ飛ばない」と言いながらも子どもも大人も楽しくディスクを投げ合い、最後には点数を競いました。

今年度も実施しますので家族や友達など誘い合ってぜひご参加ください。

春のふれあいまつり　令和3年3月6・7日（土・日）

今年度は新型コロナウイルス感染防止のためコミセンサークルの展示をメインにし、２日間の開催としました。延べ１５０人の来場者があり、写真、俳句、着装、和服のリメイク、クラフトの作品展示や児童館の大豆作り、まちづくり協議会の活動など日頃の活動を熱心に見ていました。

また、木部小学校児童の俳句などの作品やすずらん保育園のお雛様の作品などの展示で会場は春らしい雰囲気に満たされました。

その他、「親子パン作り体験」「着付け体験」「俳句作り体験」では、子供たちのチャレンジする姿が見られ、まち協手作りの「笹餅」も大人気で、２００パックが２時間で完売しました。

令和２年度坂井木部地区まちづくり協議会総会

＊令和2年度決算と令和3年度予算

	項　目	令和2年度決算	令和3年度予算
収入	市交付金（まち協・区長会・敬老会）	1,800,000	2,510,100
	負担金	9,100	30,000
	雑収入	38,615	25,203
	繰越金・その他	1,105,769	1,134,697
	合　計	2,953,484	3,700,000
支出	事務費	183,708	500,000
	会議費	31,752	290,000
	研修費	10,000	400,000
	かんきょう美化	198,822	200,000
	あんしん防災	16,129	150,000
	すこやか福祉	82,325	140,000
	ふるさと交流	86,461	360,000
	ぶんか教育(花火含む)	791,835	160,000
	広報事業	349,430	150,000
	米作りと農村文化伝承事業	68,325	750,000
	敬老会	0	600,000
	合　計	1,818,787	3,700,000

4月21日（水）令和2年度総会が開催され、構成員数１０１名、出席者数40名、委任状40名、合計80名で第１号議案から第４号議案まですべて承認されました。令和３年度予算と事業計画は同紙面のとおりです。

令和３年度も新型コロナの感染状況により事業の縮小・中止となる場合もありますが皆様のご協力よろしくお願いします。

令和３年度活動計画

かんきょう美化部会

部会長:陶山正一　副部会長:大木和夫
- ふるさと花壇づくり
- 木部ふれあい公園の清掃活動
- EM製品の製造、販売、講習会開催

あんしん防災部会

部会長:長船信弘　副部会長:小林茂
- 木部地区防災訓練
- コミセンで防災合宿
- 登校児童見守り活動

すこやか福祉部会

部会長:廣部義治　副部会長:関輝勝
- 敬老会
- 地区お試しサロン
- グランドゴルフ講習会

ふるさと交流部会

部会長:矢村賢司　副部会長:常廣佐知子
- 笹餅づくり、餅つき
- ディスクゴルフで交流会
- ふれあい食堂開設

ぶんか教育部会

部会長:栗原泰道　副部会長:齊藤孝子
- 木部のお宝調査
- 鬼辺輪中を歩く（第2歩）
- 他まち協との交流事業

体育委員会

委員長:平田善行　副委員長:石丸恵
- ニュースポーツ研修会
- ニュースポーツの普及
（スティックリング、ディスクゴルフ、グランドゴルフ大会）

木部まちづくりプラン策定委員会

委員長:吉川裕　副委員長:多田盛一
- 「木部のまちづくりを考える会」運営
- まちづくりプランの作成

広報・特別事業

- 広報紙「みのりの郷」発行
- 米づくり学習体験（小学校連携）
- 夏まつり（保育園連携）

役　員　名

会　長	吉川　裕
副会長	高須　正実・武川　ひろみ
会　計	齊藤　孝子
監　事	陶山　隆志・髙柳　孔周
顧　問	陶山　治男
事務局	正藤　露子・友田　美穂子

会長挨拶

吉川　裕

日頃よりまちづくり協議会にご協力とご支援を賜りありがとうございます。

令和２年度は新型コロナウイルス感染防止のためまちづくり協議会の活動も制限された内容になりました。そうした中でも「田園花火」は木部地区の人々がコロナ禍の中で頑張ろうと思う気持ちが一つになったように思います。

さて、当まちづくり協議会は、平成20年に設立し12年が経過しました。これまでの活動の成果を検証し、地域の良い所や課題を探りながら今後のまちづくりを考えていこうということで、各団体の代表やまち協、区長会、区民の皆様による「木部のまちづくりを考える会」が立ち上がりました。当会が中心となり木部地区の活性化、そして住みやすい地区のまちづくりを考えていきたいと思いますのでご指導とご支援をお願いいたします。

末尾ながら皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

木部まちづくりプラン研修会　令和3年4月10日（土）

木部地区がもっと住みやすく、笑顔で暮らせるまちになるためには、そこに住んでいる私達一人一人がどのようにまちづくりにかかわるかを考え行動することが大切です。

そこで、各種団体やまち協の会員、区民など43名で構成する『木部のまちづくりを考える会』が立ち上がりました。これからアンケートで区民の意見を聞き、ワークショップで話し合いを重ね、『木部地区のまちづくり計画』を作っていく予定です。

この日は水上聡子先生を講師に招き、住民主体のまちづくりについて31人で意見を出し合いました。「幸せを感じる木部の暮らしは？」では「住民性として穏やかで優しいこと」「緑が多く自然に囲まれていること」などたくさんの幸せが出ました。１時間半の研修はあっという間に過ぎ、参加者からは「いろいろな人の意見が聞けて新たな気づきがあった」「まちづくりについて漠然としかわからなかったが掘り下げることができた」など前向きな感想が多く、有意義な研修となりました。今後は「木部地区の課題と対策」を話し合っていく予定です。

この会は随時会員を募集しています。一緒に木部地区をよりよくするために考えてみませんか。

連載：知ってもっと好きになる私たちのまち坂井木部

◎木部の村々　その3

坂井木部地区の集落の歴史や伝説について3回目の掲載となりました。今回は清永です。

「清永」という地名は弘安期（１２７８〜８８）の興福寺領川口庄兵庫郷名寄帳に記載されている。江戸期から明治22年（１８８９）までは「清長村」と記されていた。『越前国名蹟考』には、朝倉家家臣、伊勢帯刀（たてわき）の屋敷があったと記述があり、10字「舘」・12字「南垣内」一帯が館跡である。「南垣内」には明治32年（１８９９）まで神明宮があり、一部堀跡も残っていたという。遺構から連立式復郭構造と推測され、南隣して６字「辰ノ腰」西には「門口」の小字名が残る。明治６年には清永小学校が設立されており、36年の木部尋常小学校との合併後は分教場となった。さらに42年には木部南小学校に併合されている。

九頭竜川下流は氾濫を繰り返し、浸水に悩まされていたため、清永から春江町定広（兵庫川から九頭竜川）まで堤防が築かれていた。また、昭和23年の福井地震の影響で天然ガスが発見され、家庭用燃料として利用されていた。

集落の中心には長和４年（１０１５）社殿創立の白山神社があり、その境内には天文18年８月の銘がある九重の塔がある。集落の南には延宝期から文化期（１６７３年頃〜１８３０年頃）に建てられた卵塔のある浄土宗圓成院がある。

その他、当地区では婚礼時に大量のハタハタを炭火で焼き、砂糖と味噌のたれをつけた「ハタハタの田楽」がふるまわれていた。

〈出典〉木部村誌・坂井町誌

お知らせ

◎令和2年12月4日（金）に「坂井市ふるさとづくり大会」が高椋コミュニティセンター古城ホールで開催され、次の団体が表彰されました。
受賞おめでとうございます。今後のご活躍をご祈念申し上げます。

令和2年度 青少年育成坂井市民会議会長賞表彰受賞（団体の部）
坂井木部地区まちづくり協議会伝承事業実行委員会

「毎年、木部小学校の児童に昔ながらの米作り体験学習を行っており、児童と地域の人達とのふれあいを通して、米作りの大切さや地域への愛着を育てる活動をしている。」

◎**笑顔 大募集！**表紙の笑顔写真を募集します！コミセンまでお持ちください！

坂井木部地区のようす

令和３年４月１日現在
（ ）内は前年比

人口	：1712人	（－16）
男	：821人	（－8）
女	：902人	（－8）
世帯数	：521戸	（+10）
小学生数	：94人	（ 0）

発行 2021.5.25

坂井木部地区まちづくり協議会　広報委員会
〒919-0532 坂井市坂井町高柳117-9
坂井木部コミュニティーセンター内
TEL 0776-72-0007 FAX 0776-72-3009
e-mail：skibe-p@mx3.fctv.ne.jp
HP：https://kibemaru.jimdofree.com/

編集後記

コロナ禍の中、何とか令和2年度の事業を終えることができました。活動の滞りがちな災禍の時期だからこそ、立ち止まって、これまでの活動を振り返るとともに「木瓜（ぼけ）咲くや漱石拙（せつ）を守るべく」（漱石）の句のごとく、この先不器用でも愚直に取り組んでいきたいものです。（S.S）